

現況検査により認められる状況の記録

令和5年2月17日	
NO	61
場所	B X 5 通り
部位	FG 1 3 A (基礎梁)
B X 5 通り (FG 1 3 A) の基礎配筋施工状況。	



令和5年2月17日	
NO	62
場所	B X 5 通り
部位	FG 1 3 A (基礎梁)
FG 1 3 A (基礎梁) の鉄筋組が計画通りであることを確認。(上下端主筋: 3/2-D25)	

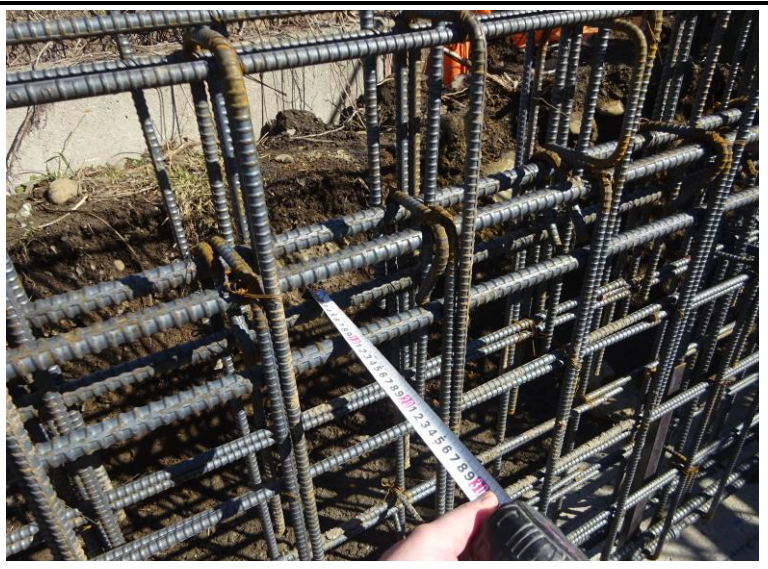


令和5年2月17日	
NO	63
場所	B X 5 通り
部位	FG 1 3 A (基礎梁)
FG 1 3 A (基礎梁) の鉄筋組が計画通りであることを確認。(せん断補強筋: D13@100)	



現況検査により認められる状況の記録

令和5年2月17日	
NO	64
場所	BY9通り
部位	FG1 (地中梁)
FG1 (地中梁) の鉄筋組が計画通りであることを確認。(上端主筋: 2/2-D22)	

令和5年2月17日	
NO	65
場所	BY9通り
部位	FG1 (地中梁)
同上。(下端主筋: 2/2-D22)	




令和5年2月17日	
NO	66
場所	BX5, BY9通り
部位	基礎梁接続部
FG13A (基礎梁) ~ FG1 (地中梁) の接続部では、FG13Aの主筋が必要定着長さ: L2 (D25×35=875mm以上) を確保していることを確認。	




現況検査により認められる状況の記録

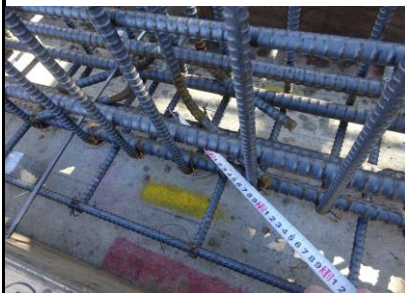
令和5年2月17日	
NO	67
場所	B X 5, B Y 9 通り
部位	基礎梁接続部
同上。	




令和5年2月17日	
NO	68
場所	B X 6 通り
部位	端部曲げ補強筋
計画通りに端部曲げ補強筋（当該箇所は4-D16）が設置されていることを確認。	




令和5年2月17日	
NO	69
場所	B X 6 通り
部位	端部曲げ補強筋
同上。端部・交差部曲げ補強筋の折り返し定着長さ（150mm以上）が確保されていることを確認。	




現況検査により認められる状況の記録

令和5年2月17日	
NO	70
場所	B X 5 通り
部位	端部曲げ補強筋
B X 5 通りに計画されている端部曲げ補強筋 (2-D13) の設置が未済であることを指摘。	



令和5年2月18日	
NO	71
場所	B X 5 通り
部位	端部曲げ補強筋
上記指摘内容に対して、その場にて是正が行われたことを確認済。	



令和5年2月17日	
NO	72
場所	B X 3 通り
部位	FG 1 1 B (基礎梁)
B X 3 通り FG 1 1 B (基礎梁) の配筋組施工状況。	



現況検査により認められる状況の記録

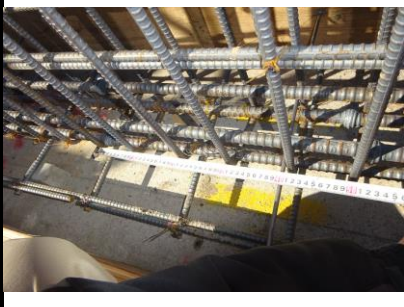
令和5年2月17日	
NO	73
場所	B X 3 通り
部位	FG 1 1 B (基礎梁)
FG 1 1 B (基礎梁) の鉄筋組が計画通りであることを確認。(上端主筋: 2/2-D22)	



令和5年2月17日	
NO	74
場所	B X 3 通り
部位	FG 1 1 B (基礎梁)
同上。(下端主筋: 2/2-D22)	




令和5年2月17日	
NO	75
場所	B X 3 通り
部位	FG 1 1 B (基礎梁)
主筋の圧接継手部が適切な位置(隣り合う主筋の圧接継手位置との間隔: $a \geq 400\text{mm}$ 以上)として施工が行われていることを確認。	




現況検査により認められる状況の記録


令和5年2月17日	
NO	76
場所	B X 3 通り
部位	FG 1 1 B (基礎梁)
FG 1 1 B (基礎梁) の鉄筋組が計画通りであることを確認。(せん断補強筋: D13@100mm)	




令和5年2月17日	
NO	77
場所	B X 3 通り
部位	FG 1 1 B (基礎梁)
せん断補強筋のフック折り曲げ部の余長が適切 (135° : D13×6=78mm以上) であることを確認。	





令和5年2月17日	
NO	78
場所	B X 3 通り
部位	FG 1 1 B (基礎梁)
FG 1 1 B (基礎梁) の鉄筋組が計画通りであることを確認。(腹筋: 2-D13@300mm以下)	




現況検査により認められる状況の記録

令和5年2月17日	
NO	79
場所	B X 3 通り
部位	FG 1 1 B (基礎梁)
<p>梁天端補強筋が計画通り (通し筋: 2-D13、せん断補強筋: D13@200) であること の他、定着寸法L2 (455mm=D13×35) が確保されていることを確認。</p>	
	



令和5年2月17日	
NO	80
場所	B X 3 通り
部位	FG 1 1 B (基礎梁)
<p>基礎梁成+梁天端補強の出来形が計画通りであることを確認。基礎底盤下端～スラブ天端: 1,350mm</p>	
	



令和5年2月17日	
NO	81
場所	B X 3 通り
部位	FG 1 1 B (基礎梁)
<p>基礎フーチング部の配筋組、及び、型枠設置が計画通りであることを確認。</p>	
	




現況検査により認められる状況の記録

令和5年2月17日	
NO	82
場所	B X 3 通り
部位	FG 1 1 B (基礎梁)
<p>前回 (CD棟の基礎配筋検査時) 指摘したようなせん断補強筋の下がりは生じていない状況であることを確認。</p>	
	



令和5年2月17日	
NO	83
場所	B X 3, B Y 8 通り
部位	基礎梁接続部
<p>FG 1 1 B (基礎梁) ~ FG 1 (地中梁) の接続部では、FG 1 1 B の主筋が必要定着長さ : L2 (D22×35=770mm以上) を確保していることを確認。</p>	
	



令和5年2月17日	
NO	84
場所	B X 3, B Y 8 通り
部位	基礎梁接続部
<p>同上。</p>	
	



現況検査により認められる状況の記録

令和5年2月17日	
NO	85
場所	B X 3 通り
部位	端部曲げ補強筋
B X 3 通りに計画されている端部曲げ補強筋 (2-D13) の設置が未済であることを指摘。	



令和5年2月18日	
NO	86
場所	B X 3 通り
部位	端部曲げ補強筋
上記指摘内容に対して、その場にて是正が行われたことを確認済。	



令和5年2月17日	
NO	87
場所	B X 1 通り
部位	端部曲げ補強筋
B X 1 通りに計画されている端部曲げ補強筋 (2-D13) の設置が未済であることを指摘。	



現況検査により認められる状況の記録

令和5年2月18日	
NO	88
場所	B X 1 通り
部位	端部曲げ補強筋
上記指摘内容に対して、その場にて是正が行われたことを確認済。	




令和5年2月17日	
NO	89
場所	B X 1 通り
部位	FG 1 1 B (基礎梁)
B X 1 通り FG 1 1 B (基礎梁) の配筋組施工状況。	




令和5年2月17日	
NO	90
場所	B X 1 通り
部位	FG 1 1 B (基礎梁)
FG 1 1 B (基礎梁) の鉄筋組が計画通りであることを確認。(上端主筋：2/2-D22)	